



shaping tomorrow with you

需給マッチングシステムを用いた 在庫情報共有のご紹介

2021年1月22日
富士通Japan株式会社
(旧社名：富士通エフ・アイ・ピー)

今回ご紹介する需給マッチングシステムは、長野県様のスマート林業の取り組みにおいて開発し、ご利用頂いております。

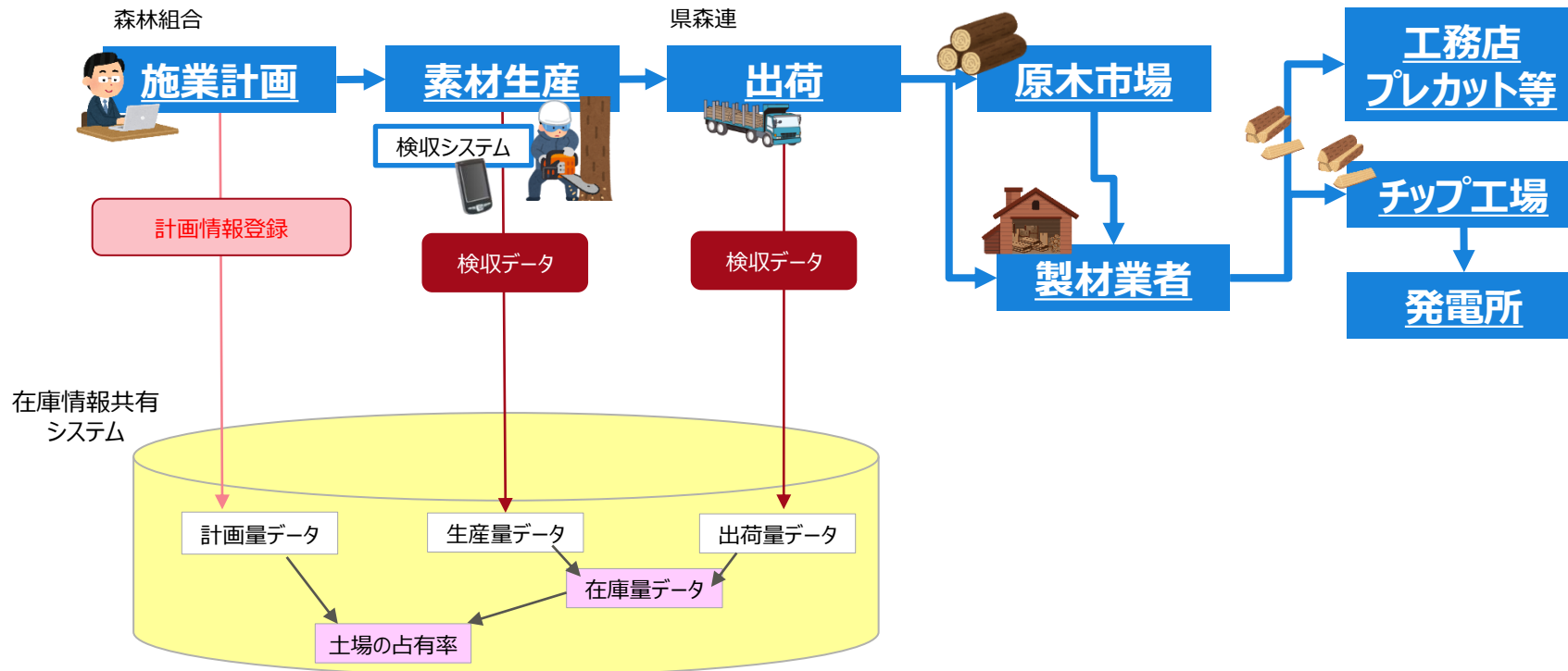
システムの利用用途（当初開発時の目的）は、素材生産活動での山土場や中間土場の原木在庫量情報を関係者で共有し、トラックの配車計画立案などでの利用となります。

収集しているデータの性質から、本システムは需給マッチングや生産活動の管理にも応用できるものと考えております。

2. システム概要

2-1. 概要

- ・インターネット上で木材供給量の情報を共有する仕組み（木材供給情報共有機能）
- ・スマートフォンアプリの木材検収システムから受信したデータをクラウドに登録し、インターネット（県森連ホームページ）上で森林組合や関係者が閲覧できる。



2. システム概要

2-2. 画面イメージ

・県信連HPからリンク
・ID/PWで閲覧制限

北信州森林組合 在庫状況

最終更新日時 2021/01/06 20:00:12

	樹種・規格	計画予定量	計画進捗率 (全体)	合計	スギ	カラマツ	アカマツ	ヒノキ	広葉樹	その他針葉樹	その他	備考
北信州森林組合 全土場総在庫合計	A材	359	176 %	-52	-72	21	0	0	0	0	0	
	B材中目	1111	57 %	50	96	-52	6	0	0	0	0	
	B材下目	307	30 %	-24	-18	-6	0	0	0	0	0	
	B材2.0m	100	0 %	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梱包	1300	68 %	452	452	0	0	0	0	0	0	
	パルプC	789	4 %	32	0	10	0	0	22	0	0	
	バイオマスC	388	87 %	189	-91	0	0	0	27	253	0	
	バイオマスD	100	0 %	0	0	0	0	0	0	0	0	

土場別在庫状況

◎トレーラー可 ○大型可 ×不可

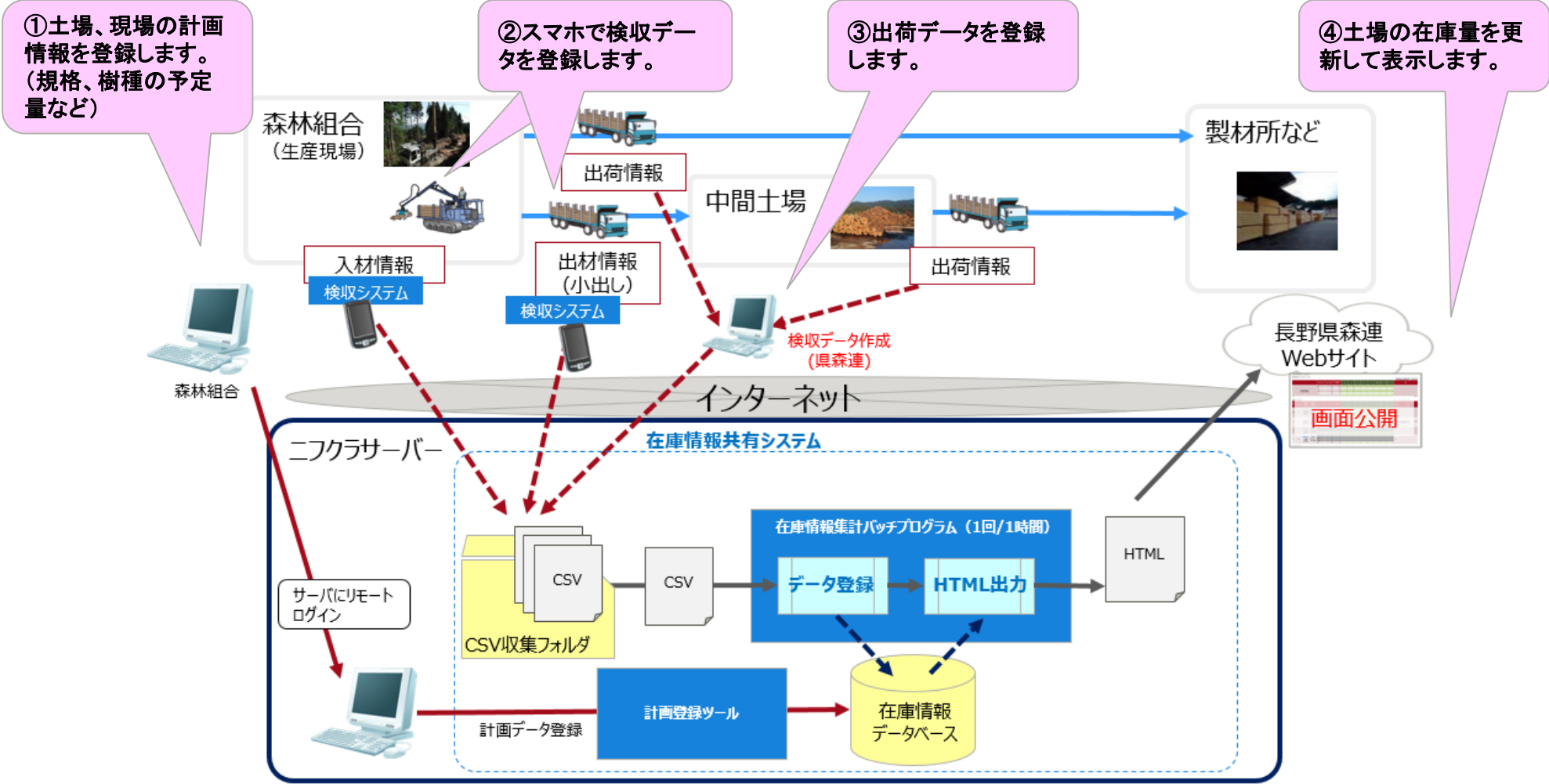
優先度	許容量率	土場名 (土場種別) 市町村 担当	現場名 (現場コード) 伐採期間 担当	樹種・規格	計画予定量	計画進捗率 (土場)	合計	スギ	カラマツ	アカマツ	ヒノキ	広葉樹	その他針葉樹	その他	運搬	備考
☆	429 %	日影久保 (山土場) 中野市 担当: 高柳	日影久保2 (7458) 2020-10-29 ~2021-04-30 担当: 高柳	B材中目	5	322 %	16	3	13	0	0	0	0	0	○	
				B材下目	10	90 %	9	9	0	0	0	0	0	0	○	
				梱包	700	86 %	404	404	0	0	0	0	0	0	○	
☆	265 %	畠松原 (山土場) 中野市 担当: 南都	畠松原 (7444) 2020-10-19 ~2021-05-31 担当: 南都	A材	90	353 %	-28	-7	-21	0	0	0	0	0	○	
				B材中目	125	112 %	140	90	51	0	0	0	0	0	○	
				B材下目	25	266 %	66	66	1	0	0	0	0	0	○	
		梱包	200	115 %	54	54	0	0	0	0	0	0	○			
		バイオマスC	200	92 %	32	-91	0	0	0	0	0	123	0			
☆	238 %	鉄砲北 (山土場) 飯山市 担当: 丸山	鉄砲北 (7453) 2020-10-14 ~2020-12-31 担当: 丸山	A材	20	0 %	-67	-67	0	0	0	0	0	0	◎	
				B材中目	291	125 %	131	73	52	6	0	0	0	0	◎	
				B材下目	6	603 %	-4	-1	-4	0	0	0	0	0	◎	
		パルプC	102	21 %	22	0	0	0	0	0	22	0	◎			
		バイオマスC	88	178 %	157	0	0	0	0	0	27	130	0			

3

Copyright 2021 FUJITSU Japan CORPORATION

2. システム概要

2-3. システム方式



3. 本システムが取り扱う情報と今後の利用について

①計画と実績の情報

	計画データ	実績データ
生産量	○	○
出荷量	×	○
在庫量	×	◎

◎→データ登録有、情報共有有り
○→データ蓄積有、情報共有無し
×→データ取り扱い無し

②原木の属性情報

属性	実績データ
樹種	◎
規格品質	◎
径級	○
材長	○
材積	◎
本数	○
生産場所	○

様々なデータを蓄積しているが、利用できているのは一部の情報のみ。

今後、データを活用した業務の改善や変革の可能性。

- 例
- ・生産活動の予実管理
 - ・出荷状況や出荷先の推移
 - ・川中川下との情報共有
 - ・生産場所、トレーサビリティへの応用

FUJITSU

shaping tomorrow with you